

頤椎手術を受けられた方へ

大阪市立大学大学院医学研究科
整形外科学

【研究課題名】

頤椎椎弓形成術が隣接椎間に及ぼす画像変化に関する検討

【研究期間】

参加者集積期間（診療録）：2011年4月1日～2014年12月31日

倫理委員会承認後 ～ 2019年 3月 31日

【研究の意義・目的】

高齢社会の加速に伴い頤髄症を有する患者が増加していき、手術加療を要する患者も増加していくと予想される。本研究の目的は、頤椎椎弓形成術後に生じる隣接椎の可動域、椎間板変性および黄色靭帯肥厚を計測し、単椎間前方固定術後の画像変化と比較検討することである。また、歯突起後方軟部組織の厚みを計測し、術後の肥厚増大と関連する因子を検討することである。

【研究の方法】

当科にて当科にて頤椎症性脊髄症の診断にて頤椎椎弓形成および頤椎前方固定を施行した患者を対象とする。項目は性別、年齢、罹病期間、手術時間、出血量、を評価し臨床項目として JOA スコア（日本整形外科学会頤椎機能評価）、頤部痛、上肢痛、上肢しびれ、SF36 を評価し画像項目は手術前後のレントゲン、CT、MRI を評価する。

【研究組織】

研究代表者

堂園将

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 堂園将

住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 整形外科学教室

電話 06-6645-3851

FAX 06-6646-6260

E-mail s.dohzono@med.osaka-cu.ac.jp